株主の皆さまへ

第153期 中間報告書

平成27年4月1日 ▷ 平成27年9月30日

住友大阪セメント株式会社

証券コード：5232

CONTENTS

株主・投資家の皆さまへ……1
事業別概況……3
連結財務諸表……5
特集……7
TOPICS……8
会社概要……9
株式の状況……10

株主・投資家の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第153期上半期(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の業績の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

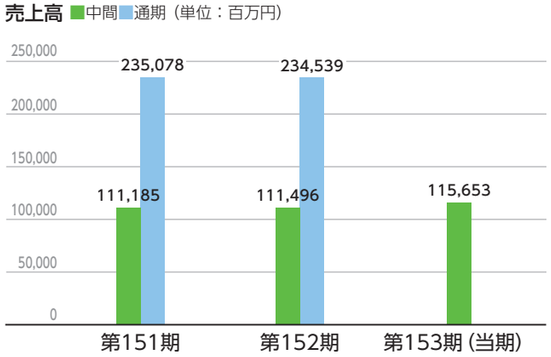
平成27年12月

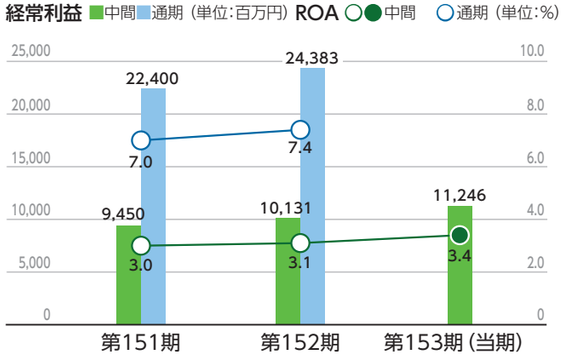
取締役社長　関根 福一

売上高　115,653百万円
前年同期比4,157百万円(3.7%)増

経常利益　11,246百万円
前年同期比1,114百万円(11.0%)増

連結業績の推移





(注)ROA：総資産経常利益率

第153期上半期の経済情勢

当上半期のわが国経済は、政府の経済対策等の効果を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

セメント業界におきましては、民間住宅投資・民間設備投資に回復の動きが見られたものの、天候不順の影響等により、民需が減少したことに加え、公共投資が前年同期を下回ったことなどにより官公需が減少したことから、セメント国内需要は、前年同期を6.4%下回る21,154千トンとなりました。一方、輸出は、前年同期を9.8%上回りました。この結果、輸出分を含めた国内メーカーの総販売数量は、前年同期を3.3%下回る26,150千トンとなりました。

このような情勢の中で、当社グループは、セメントをはじめとする各種製品の安定供給を推進するとともに、持続的発展のため、グループを挙げてコスト削減等に取り組みました。

第153期上半期の業績

以上の結果、当社グループの業績につきましては、売上高は、セメント事業等で増収となったことから、115,653百万円と前年同期に比べ4,157百万円の増収となりました。経常利益は、セメント事業における生産コスト改善等により、11,246百万円と前年同期に比べ1,114百万円の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、7,666百万円と前年同期に比べ3,518百万円の増益となりました。

なお、当社は、年間連結配当性向20%以上の安定的・継続的な配当を実施することとしており、当上半期の業績、今後の見通し等諸般の事情を慎重に検討しました結果、当期の中間配当につきましては、1株につき4.0円とさせていただくことといたしました。

第153期通期の見通し

今後のわが国経済は、政府の経済対策等の効果を背景に引き続き緩やかな回復が期待されるものの、アジア新興国等の景気の下振れリスクもあり、景気の先行きは不透明な状況にあります。

セメント業界におきましては、民間住宅投資・民間設備投資の増加により、民需は、増加することが見込まれるものの、公共投資の減少により、官公需は、引き続き減少することが見込まれることから、内需は、ほぼ横這いで推移するものと思われます。

当社グループは、このような情勢のもと、セメント事業におきましては、国内においては、需要の変動に対応した柔軟な生産・販売・物流体制の確立により、高品質な製品を安定的に供給するとともに、販売価格の適正化に努めてまいります。また、海外においては、成長が見込まれる地域への進出を今後も検討してまいります。

その他の事業におきましては、経営資源の重点的な配分等、事業規模の拡大および収益の向上のための諸施策を推進してまいります。

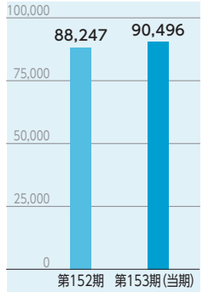
さらには、コンプライアンスの徹底を引き続き推進するとともに、リサイクル原燃料の活用等を通じ、当社グループにとって社会的使命である循環型社会構築への貢献および環境負荷の低減に、今後とも継続的に取り組んでいく所存であります。

セメント事業

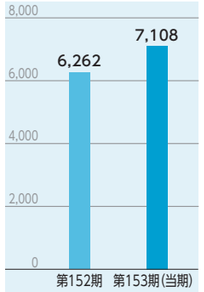
ポルトランドセメント(普通、早強、中庸熱、低熱)、高炉セメント、フライアッシュセメント、セメント系固化材、生コンクリート、電力の供給、原燃料リサイクル

セメント販売数量が前年同期を下回ったものの、子会社における販売増があり売上高は、90,496百万円と前年同期に比べ2,249百万円の増収となり、加えて、生産コスト等の削減等により、営業利益は、7,108百万円と前年同期に比べ846百万円の増益となりました。

中間売上高(単位:百万円)



中間営業利益(単位:百万円)

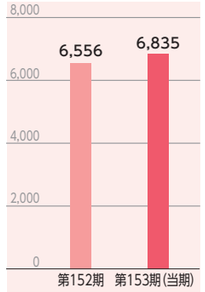


鉱産品事業

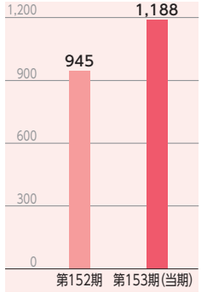
石灰石、ドロマイト、タンカル、骨材、シリカ微粉、石灰

国内向け石灰石の販売数量が増加したことなどから、売上高は、6,835百万円と前年同期に比べ278百万円の増収となり、採掘コストが改善したことなどから、営業利益は、1,188百万円と前年同期に比べ243百万円の増益となりました。

中間売上高(単位:百万円)



中間営業利益(単位:百万円)

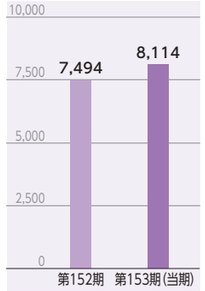


建材事業

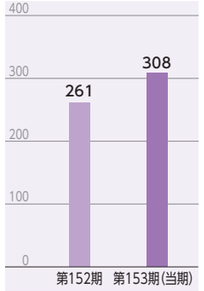
コンクリート構造物補修・補強(材料、工事)、各種混和材、重金属汚染対策材、漁礁・藻場礁、電気防食工法、各種地盤改良工事、PC(製品、工事)、各種ヒューム管

地盤改良工事が増加したことなどから、売上高は、8,114百万円と前年同期に比べ620百万円の増収となり、営業利益は、308百万円と前年同期に比べ47百万円の増益となりました。

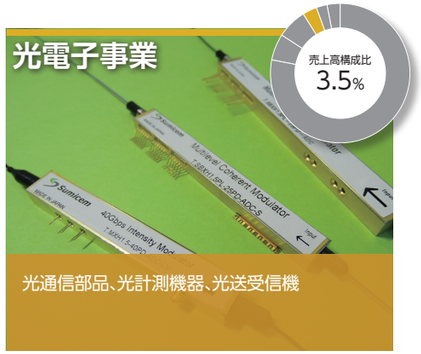
中間売上高(単位:百万円)



中間営業利益(単位:百万円)



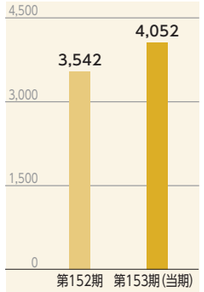
光電子事業



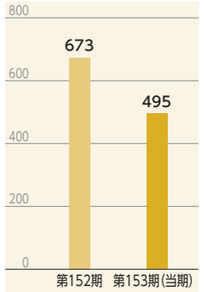
光通信部品、光計測機器、光送受信機

新伝送方式用光通信部品の販売数量が増加したことなどから、売上高は、4,052百万円と前年同期に比べ509百万円の増収となったものの、生産コストが増加したことなどから、営業利益は、495百万円と前年同期に比べ177百万円の減益となりました。

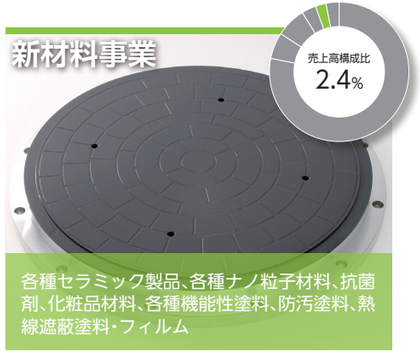
中間売上高(単位:百万円)



中間営業利益(単位:百万円)



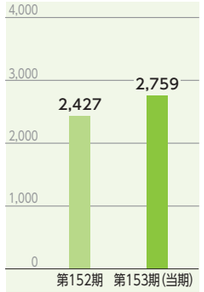
新材料事業



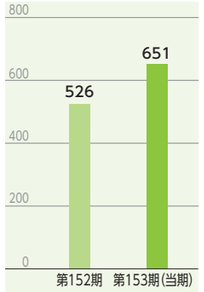
各種セラミック製品、各種ナノ粒子材料、抗菌剤、化粧品材料、各種機能性塗料、防汚塗料、熱線遮蔽塗料・フィルム

化粧品材料の販売数量が増加したことなどから、売上高は、2,759百万円と前年同期に比べ332百万円の増収となり、営業利益は、651百万円と前年同期に比べ125百万円の増益となりました。

中間売上高(単位:百万円)



中間営業利益(単位:百万円)

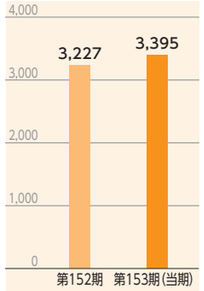


その他事業

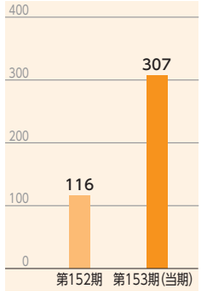
不動産賃貸、エンジニアリング、ソフトウエア開発、二次電池正極材料

二次電池正極材料の販売数量が増加したことなどから、売上高は、3,395百万円と前年同期に比べ167百万円の増収となり、営業利益は、コスト削減等により307百万円と前年同期に比べ191百万円の増益となりました。

中間売上高(単位:百万円)

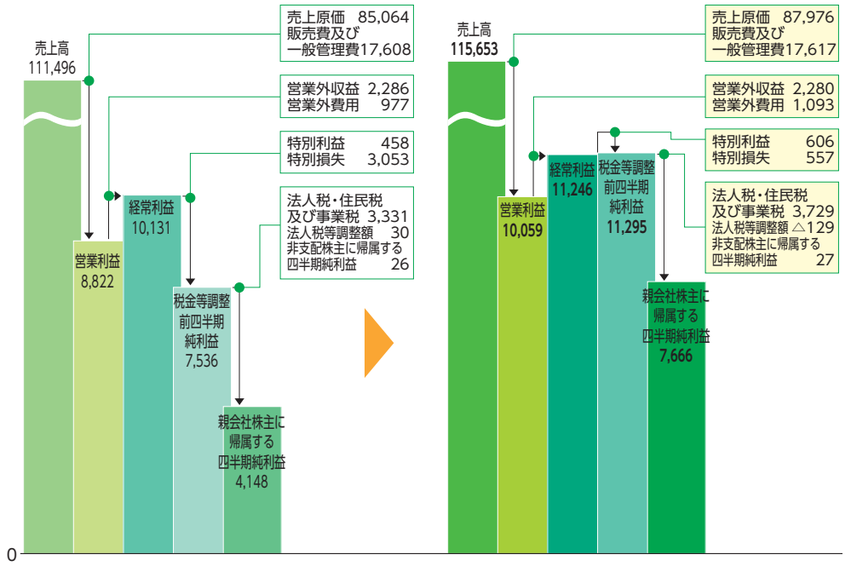


中間営業利益(単位:百万円)



連結財務諸表

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

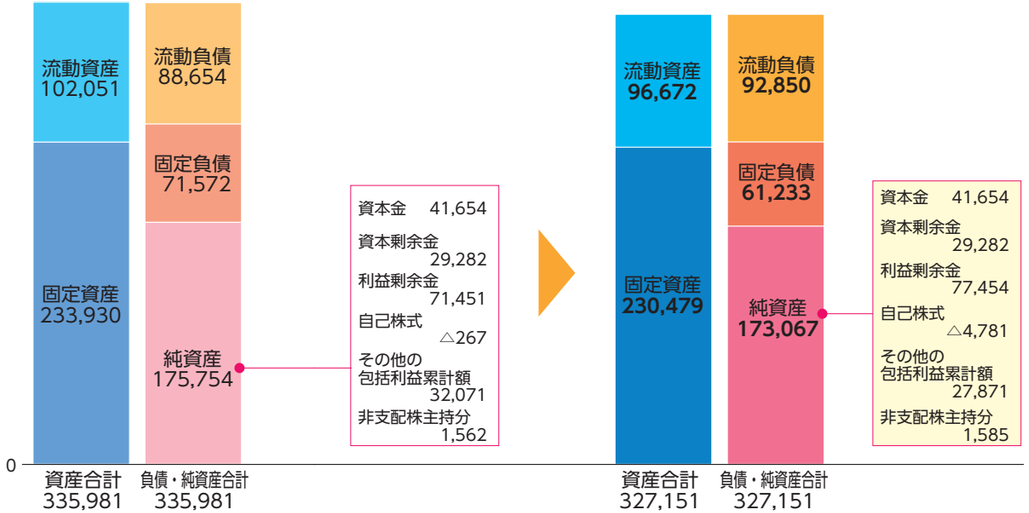


前中間期 (平成26年4月1日～平成26年9月30日) ▶ 当中間期 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

特別利益　当中間期の特別利益は、固定資産売却益601百万円等です。

特別損失　当中間期の特別損失は、固定資産除却損353百万円、固定資産売却損37百万円、減損損失165百万円です。

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



前期 (平成27年3月31日現在) ▶ 当中間期 (平成27年9月30日現在)

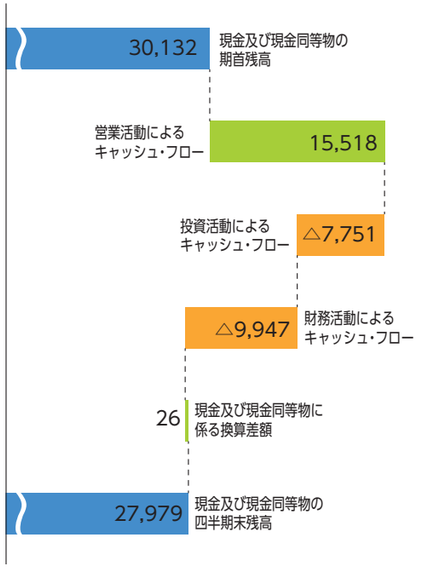
流動資産　流動資産は、5,379百万円減少しました。これは、現金及び預金が2,150百万円、受取手形及び売掛金が2,855百万円減少したことなどによるものです。

固定資産　固定資産は、3,450百万円減少しました。これは、上場株式の株価下落等により、投資有価証券が6,411百万円減少したことなどによるものです。

負債合計　負債は、6,143百万円減少しました。これは、借入金が3,730百万円減少したことに加え、投資有価証券の含み益が減少したことなどにより、繰延税金資産が2,233百万円減少したことなどによるものです。

純資産　純資産は、2,686百万円減少しました。これは、利益剰余金が6,002百万円増加したものの、自己株式の買付により自己株式が4,513百万円増加したことに加え、投資有価証券の減少等に伴い、その他の包括利益累計額が4,199百万円減少したことなどによるものです。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



当中間期 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー（以下「CF」）は、税金等調整前四半期純利益11,295百万円、減価償却費8,095百万円等です。

投資活動によるCFは、設備投資による支出8,869百万円等です。

財務活動によるCFは、借入金の増減額、配当金支払い等です。

詳しい財務情報については当社IRサイト http://www.soc.co.jp/ir/ でご覧ください。 アクセス！ 住友大阪セメント IR 検索

もっと女性が働きやすい住友大阪セメントを目指して

女性社員の活躍をサポートする職場づくり

企業が持続的発展を遂げていくためには、女性の力を活かした経営が不可欠です。当社は、平成27年4月より、これまで進めてきた女性の積極採用に加え、仕事と育児の両立支援など、女性社員が活躍しやすい職場づくりのための制度導入・拡充を実施しました。

社員一人ひとりが能力や適性を発揮し、いきいきと働ける企業を実現すべく、取り組みを進めていきます。

平成27年4月に実施した制度新設・改正

●ファミリーサポート休職制度とジョブリターン（再雇用）制度を新設

「結婚による配偶者との同居」「配偶者の転勤帯同」を理由とする対象者に適用

新設制度	ファミリーサポート休職	ジョブリターン
雇用関係	休職	一旦退職
期限	3年+延長2年	退職後5年以内
復帰後の資格	休職前の資格	嘱託社員

●育児休業規程の拡充

- 育児短時間勤務の取得可能期間を延長
- 育児短時間勤務の始・終業時間選択が可能に
- 育児休業期間の繰り上げ終了、延長が可能に

●単身赴任手当の支給要件の緩和

別居のまま結婚し、別居しながら勤務する社員にも支給

社員の声

仕事と育児の両立

知的財産部 光グループリーダー
柳町ともみ

私には現在、大学院と大学に通う2人の子供がいます。小さい頃は、2人とも保育園に預けて仕事を続けてきました。子供が小さい時は、病気になったりけがをしたりと色々と大変で、半休やフレックスを利用したり、仕事を休めない場合は、近くに住む両親や周りの友人に助けてもらいました。

当社の現行制度について、子育て中の女性総合職の方々に訊くと、時短制度やフレックス制度については、皆一様にありがたいと言っていました。でも、皆が悩んでいる点もあります。小学校入学で、保育園から学童保育に切り替わり、環境が変わってしまう「小1の壁」や、長い夏休み中の対応などに不安を感じているようです。

また、育児休業で職場を離れることに不安を感じる人も多いのではないでしょうか。育児休業中でも職場とつながりを保つことで復帰しやすくする、仕事のシェアの仕方を工夫するなど、女性が働きやすい職場環境にするための課題は、まだあるように感じます。

仕事・育児・家事をこなさなければならない女性は、限られた時間内で、無駄を省き、何事も効率よくこなしていくという意識がとても強いと思います。その能力を会社として活用することで、生産効率の向上や組織の活性化がさらに図れると思います。

TOPICS

舗装工事の翌日には道路を通れる！

早期交通開放型コンクリート舗装「1DAY PAVE（ワンデイ ペイブ）」の普及促進

平成27年3月、栃木工場で早期交通開放型コンクリート舗装「1DAY PAVE」の試験施工見学会を実施しました。「1DAY PAVE」は、コンクリート舗装の欠点とされる養生期間を短縮し、施工後1日以内で交通開放を可能とする技術です。

汎用的な材料で製造できるため、全国の生コンクリート工場から出荷可能で、特殊な施工機械を必要としない点も「1DAY PAVE」の大きなメリットです。

当社は、今後、さまざまな条件下での「1DAY PAVE」の施工データを蓄積し、普及を目指します。

行政関係者や道路・建設会社、生コンクリートメーカー、報道機関他、多くのご参加をいただいた試験施工見学会

平成27年6月、兵庫県宝塚市の公道で「1DAY PAVE」が採用されました。良好な施工性で、養生期間も1日に短縮できました。

東京で発生したごみをセメント資源に

都内清掃工場からの一般ごみ焼却灰を受入

当社グループ工場では、ごみ焼却場から発生する一般ごみ焼却灰のセメント資源化を行っており、平成22年より赤穂工場、平成23年より高知工場において資源化を開始しました。八戸セメント株式会社では、県内自治体に加え、平成27年度からは、東京都23区内の清掃工場が排出するごみ焼却灰の受入を本格的にスタートしました。

ごみ焼却灰のセメント資源化は、埋立処分場の延命化と同時に、環境負荷の低減に寄与します。循環型社会の構築に貢献できる取り組みとして、今後さらに強化していく考えです。

コンテナ積込終了後のJR貨物車両

八戸セメント株式会社工場外観

会社概要 (平成27年9月30日現在)

会社概要

商号	住友大阪セメント株式会社 Sumitomo Osaka Cement Co.,Ltd.
設立年月日	明治40年11月29日
資本金	416億円
従業員数	1,198名
主な事業所	
本社	〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
支店	札幌支店
	東北支店
	東京支店
	北陸支店
	名古屋支店
	大阪支店
	四国支店
	広島支店
	福岡支店
セメント工場	栃木工場
	岐阜工場
	赤穂工場
	高知工場
	八戸セメント株式会社
石灰石事業所	山口事業所
	小倉事業所
研究所	新規技術研究所
	セメント・コンクリート研究所
海外拠点	SOC AMERICA INC.(米国ニュージャージー州)
	香港事務所(中国香港特別行政区)
	住龍納米技術材料(深圳)有限公司(中国広東省)
	東莞住創光電子技術有限公司(中国広東省)
	SOC VIETNAM CO., LTD. (ベトナムフンイエン省)

役員および執行役員

※	取締役社長	関根福一
※	取締役執行役員副社長	中尾正文
※	取締役専務執行役員	藤末亮
	取締役専務執行役員	菅雄志
	取締役常務執行役員	向井克治
	取締役常務執行役員	吉冨功
	取締役	齊田國太郎
	取締役	渡邊明
	監査役(常勤)	村松龍司
	監査役(常勤)	関根章雄
	監査役	友澤史紀
	監査役	保坂庄司
	監査役	鈴木和男
	常務執行役員	山本繁実
	常務執行役員	藤原康生
	常務執行役員	大西利彦
	常務執行役員	中川藤外志
	常務執行役員	井上慎一
	執行役員	榊原弘幸
	執行役員	小木亮二
	執行役員	野々村智範
	執行役員	諸橋央典
	執行役員	今井俊雄
	執行役員	大嶋信太郎
	執行役員	小西幹郎
	執行役員	青木秀起
	執行役員	内村典文
	執行役員	下モ真史
	執行役員	島田徹

(注) 1. ※印表示は、代表取締役を示します。
2. 取締役のうち齊田國太郎および渡邊明の両氏は、社外取締役であります。
3. 監査役のうち友澤史紀、保坂庄司および鈴木和男の3氏は、社外監査役であります。

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

株式の状況

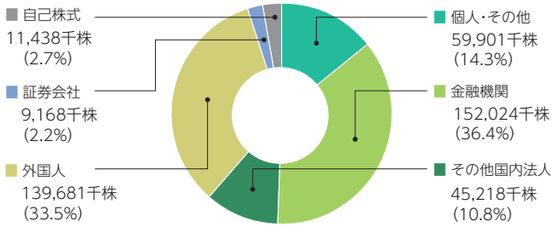
発行可能株式総数	1,470,130,000株
発行済株式総数	417,432,175株 (うち自己株式11,438,527株)
株主数	30,854名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	37,357	9.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,372	5.0
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	10,809	2.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	9,812	2.4
株式会社三井住友銀行	9,163	2.3
住友生命保険相互会社	8,520	2.1
野村信託銀行株式会社(投信口)	8,038	2.0
MSCO CUSTOMER SECURITIES	7,856	1.9
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	7,521	1.9
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505041	7,229	1.8

(注) 1. 当社は、自己株式11,438,527株を保有しておりますが、上記の大株主から除外しております。
2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式数を除いた数に基づき、算出しております。

所有者別分布状況



IRカレンダー

平成28年3月期		
平成28年	2月	第3四半期決算発表
	5月	決算発表
	6月	定時株主総会開催

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告 (公告掲載アドレス http://www.soc.co.jp/frame08.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(電話照会先)	0120 (782) 031
(インターネットホームページ)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場金融商品取引所	東京証券取引所
単元株式数	1,000株

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

事業所探訪
01

史跡・清流・緑　赤穂工場からの眺望

瀬戸内海に臨む兵庫県南西端の赤穂市。「赤穂の塩」で知られる当地の塩田跡地に建ち、半世紀にわたり操業し続けている赤穂工場は、当社最大規模の生産拠点です。

工場周辺を語るうえで欠かせないのは、まず忠臣蔵四十七士で有名な史跡、赤穂城でしょう。工場の東南に位置する赤穂城跡公園内に天守台、櫓(やぐら)、石垣等の遺構を今に残し、本丸庭園と二の丸庭園は、名勝に指定されています。赤穂城跡公園の東側には、中国山地から清らかな水を運ぶ千種(ちくさ)川が流れ、播磨灘に注ぎ込んでいます。この清流は、環境省により「名水百選」の一つに挙げられています。

赤穂工場と市街地の境界に伸びる「グリーンベルト」の自然豊かな景観にも注目です。「グリーンベルト」は、環境保全の一環として整備された緑地で、広く地域の皆さまに親しまれています。

表紙写真のご紹介

赤穂工場外観

生産能力420万トン、敷地面積624,472㎡の規模を誇る赤穂工場は、西日本各地から関東までのセメント供給を担う生産拠点です。セメント焼成炉2基に廃熱発電設備を有し、火力発電設備とあわせて、工場内の電力を全て自家発電でまかなっています。

住友大阪セメント株式会社
〒102－8465 東京都千代田区六番町６番地28
Tel. 03(5211)4500(代表)

UD FONT
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK
環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。